

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-515199 (P2005-515199A)

【公表日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【年通号数】公開・登録公報 2005-020

【出願番号】特願 2003-548816 (P2003-548816)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/138 (2006.01)

A 6 1 K 31/5375 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 31/138

A 6 1 K 31/5375

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

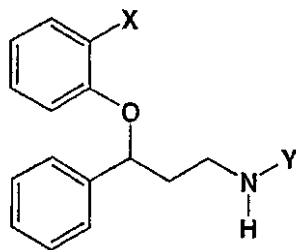
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アトモキセチンおよび式 I :

【化 1】



I

[式中、X は C₁ - C₄ アルキルチオであり、Y は C₁ - C₂ アルキルである]

で示される化合物またはその製薬上許容される塩からなる群から選択される選択的ノルエピネフリン再取込インヒビターの、チック障害の治療用医薬の製造用の単独活性成分としての使用。

【請求項 2】

選択的ノルエピネフリン再取込インヒビターがアトモキセチンである、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 3】

アトモキセチンが塩酸塩の形態である、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 4】

トウレット症候群の治療用である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 5】

慢性チック障害の治療用である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の使用。

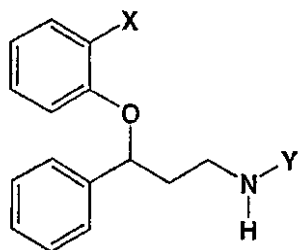
【請求項 6】

一過性チック障害の治療用である、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 7】

アトモキセチンおよび式 I :

【化 2】



I

[式中、X は $C_1 - C_4$ アルキルチオであり、Y は $C_1 - C_2$ アルキルである]

で示される化合物またはその製薬上許容される塩からなる群から選択される選択的ノルエピネフリン再取込インヒビターの、合併型注意欠陥多動性障害を伴うチック障害の治療用医薬の製造用の単独活性成分としての使用。

【請求項 8】

選択的ノルエピネフリン再取込インヒビターがアトモキセチンである、請求項 7 に記載の使用。

【請求項 9】

アトモキセチンが塩酸塩の形態である、請求項 8 に記載の使用。